

第13回レポート・解答例

- ① A->B [SYN (Seq200, Ack000)] ※まだコネクションは確率されていないので、Ack番号は何でも構いません
- ② B->A [SYN, ACK (Seq300, Ack201)] ※端末AからのSYNにも通番が1つ割り当てられます
- ③ A->B [ACK (Seq201, Ack301)] ※端末BからのSYNにも通番が1つ割り当てられます

コネクションの確立

- ④ A->B [ACK (Seq201, Ack301)] ※最大IPパケット長が1040バイトなので、一度に送れる最大データ量は1000バイトです。通番101～1100までのデータ
- ⑤ A->B [ACK (Seq1201, Ack301)] ※通番1101～2100までのデータ
- ⑥ A->B [ACK (Seq2201, Ack301)] ※ウィンドウサイズは2400バイトなので残りの $2400 - 1000 - 1000 = 400$ バイトが送られます。通番2101～2500までのデータ
(B->A [ACK (Seq301, Ack1201)]) ※まとめてAckを返す場合は無くても構いません ④のセグメントに対する確認応答
(B->A [ACK (Seq301, Ack2201)]) ※まとめてAckを返す場合は無くても構いません ⑤のセグメントに対する確認応答
- ⑦ B->A [ACK (Seq301, Ack2601)] ※⑥のセグメントに対する確認応答
- ⑧ A->B [ACK (Seq2601, Ack301)] ※通番2501～3500までのデータ
- ⑨ A->B [ACK (Seq3601, Ack301)] ※ここまでで3400バイト送っているので、残りは1600バイト。通番3501～4500までのデータ
- ⑩ A->B [ACK (Seq4601, Ack301)] ※ここまでで4400バイト送っているので、残りは600バイト。通番4501～4900までのデータ
(B->A [ACK (Seq301, Ack3601)]) ※まとめてAckを返す場合は無くても構いません ⑧のセグメントに対する確認応答
(B->A [ACK (Seq301, Ack4601)]) ※まとめてAckを返す場合は無くても構いません ⑨のセグメントに対する確認応答
- ⑪ B->A [ACK (Seq301, Ack5001)] ※⑩のセグメントに対する確認応答
- ⑫ A->B [ACK (Seq5001, Ack301)] ※ここまでで4800バイト送っているので、残りは200バイト。通番4901～5100までのデータ
- ⑬ A->B [FIN, ACK (Seq5201, Ack301)]
- ⑭ B->A [ACK (Seq301, Ack5202)] ※端末AからのFINにも通番が1つ割り当てられます ⑯と⑮はまとめて構いません
- ⑮ B->A [FIN, ACK (Seq301, Ack5202)]
- ⑯ A->B [ACK (Seq5202, Ack302)] ※端末BからのFINにも通番が1つ割り当てられます

コネクションの終了